

## 研究講習事業報告

学発番号： 学19-049★（日臨技推進事業）

事業名： 心電図検査研修会

日時： 令和2年2月13日（木） 18：30～20：30

場所： 京都保健衛生専門学校 視聴覚室

主題1： 「こんな心電図の時どう読影しますか？」

講師1： 横山 健輔 技師（京都桂病院）

講師2： 三宅 穂岳 技師（京都民医連中央病院）

講師3： 佐賀井 聡 技師（京都大学医学部附属病院）

参加数： 総数：50名（京臨技会員：49名）

報告者： 加藤 ゆず子（京都府立医科大学附属病院）

以下、講演内容など

今年度第3回目となる心電図検査研修会が開催されました。「こんな心電図の時どう読影しますか？」と題してパネリスト3名と司会者、計4名の講師が自施設の症例を提示し、参加者は受付で配布された資料（心電図）を各自で判読して、各講師が解説する形式で講義が行われました。不整脈、虚血の心電図判読の手順に始まり、教科書にはあまり載っていない左脚ブロックの心筋虚血評価や普段なかなか遭遇することのない低体温症の心電図など7症例が提示されました。講義は心電図の所見解説にとどまらず、別の講師が違った角度から問いかけ、それに回答する方式で、注意すべきポイント、同様の症例に遭遇したときの対応、各施設の（緊急）報告の取り決めまで盛り沢山で、とても楽しく聴講できました。

心電図変化が軽微でも患者さんの訴えをよく聞いて波形を推測し考えながら心電図を記録すること、胸痛を主訴とする患者さんから症状を聞き出すコツ、判読に役立つ心電図記録のコツ（延長記録、追加誘導）、過去の心電図との比較の重要性など。毎月1回、心電図の勉強会を開催している「ひよこの会」の中心的メンバーである講師陣のお話は説得力があり、翌日から心電図を記録する際に役立つポイントが満載でした。